

成田空港温泉 空の湯



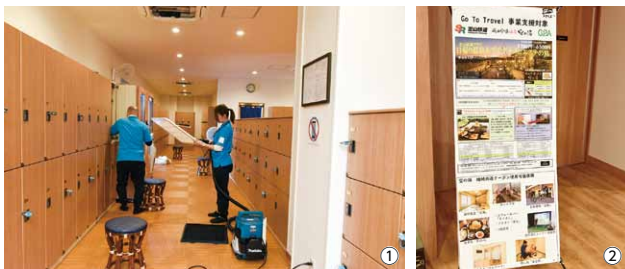
お客様の満足を
スタッフ一丸で作り上げる

昨年の12月にオープンしたばかりの状況で休業要請が出され、経営計画や人員配置計画の見直しが迫られたことにより施設の再整備を行う毎日でした。日々増え続ける感染者数に耳をふさぎたくなるような状況でしたがいつでもオープンできるよう、休業要請解除後の展開を見据えて準備をしていました。

5月22日に営業時間を短縮して再開となりましたが、お客様が戻ってきてくれるか、感染防止策などに満足していただけるかスタッフ一同心配な気持ちを抱いていました。そんな中「再開するの待ってたよ、おめでとう」などお客様からいただいた励ましの言葉がコロナ禍でも前向きに努力する気概となりました。

ビルメンテナンス会社でもある当社は、建物の環境管理や清掃管理の専門資格を有する者が多く在籍しているため、清潔で安心して来館していただける施設提供を心掛けています。また、毎月さまざまなイベントを実施することでお客様の満足度向上に努めています。

感染者は現在も増えており先が見えない状況ですが、地元の方々にお越しいただいていることがとても心強く、私たちの大きな励みとなっています。空港利用者が回復しない今、周辺の地域の皆さまにさらに満足していただけるよう、しっかりと感染防止策と運用を実施していきます。



①細かい部分まで丁寧に清掃しています
②さまざまなキャンペーンを行っています

みんなで一
緒に

乗り越えよう

感染拡大から衰えることなく全世界で猛威を振るっている新型コロナウイルス。見えないウイルスの存在は、私たちの生活に今もなお恐怖と不安を与え続けています。

このような大変な状況の中でも、町内の店舗で働く事業者の方々は「お客様の笑顔や地域の活力を取り戻したい」「安心して利用してもらいたい」といった、コロナに負けない強い思い

を持ってさまざまな努力や工夫をしながら営業を続けていました。

私たちが毎日の生活の中で町内の店舗を利用し、買い物や食事をする事は事業者の方々に応援することにつながります。感染拡大防止と社会経済活動の両立を実現させるため、一人一人ができることに取り組み、みんなで協力して新型コロナウイルスによる苦境を乗り越えましょう。

レストランFUWARI



日々変化する状況の中で
安心安全を提供する

昨年の台風、停電、豪雨に続いての休業要請だったので、休業中は本当に厳しい状況でした。国からの助成金があるとはいえ、先が見えない中で日々の報道により変わっていく情報に混乱しながらも「何が安全か、どのタイミングで次の段階へ移行できるのか」ということを毎日考えていました。

6月1日より営業が再開しましたが、3年後の生存率30%と言われている厳しい飲食業の世界です。このコロナ禍で現在、優良店のはずの大型チェーン店ですら大量に閉店しています。元々厳しい業態ながら、感染防止策を万全に行い、日々情報を集めながら方向性を柔軟に変えて対応していく毎日は不安やプレッシャーが大きかったです。

営業再開時、まずは接触の少ないワンプレート形式でのランチの提供から始めました。11月1日からは「選べるランチプレート」という形式で、カウンターや座席に飛沫防止パネルを設置し、入店時の検温やマスクの着用、一定時間ごとの換気など国のガイドラインに沿った感染防止策を講じて営業を行っています。

今後は、感染防止策をしながらという制限の中で今まで以上に高度な戦略や集客方法が求められるかと思っています。そのような中でも「レストランFUWARI」はお客様に求められるよう日々進化し、安全を心掛けてこれからも営業していきます。



①アクリル板によって仕切られた座席
②毎日彩り豊かな料理が並ぶ

道の駅 風和里しばやま



生産者の方とともに
地域の活力を取り戻す

店舗は休業要請の対象になっていませんでしたが、外出自粛の風潮が高まった影響により来店者数は3割程度減少しました。休業要請中は、スタッフが入口に立ち店内の人数が30人以上にならないようにする入場制限をして営業していましたが、今まで経験したことのない事態だったので、お客様に来店していただけるのか、お客様や従業員に感染者が出ないかととても不安な気持ちがある中、日々感染防止策に追われる状況でした。

現在は、引き続き入場制限やマスク着用をお願い、レジに並ぶ際のソーシャルディスタンスの確保、飛沫防止フィルムの設置をするなどの感染防止策を行っているほか、店内の換気や空気清浄機を設置して空気が循環するようにしたり、センサーで人を感知して音声で流れる館内放送や各種ポップを掲示して3密回避などを呼び掛けています。

現段階では、休業要請が出ていた頃に比べて社会情勢が安定したことやGoToキャンペーンの普及もあり、お客様も外を出歩くことに抵抗が少なくなってきたので、感染防止策をより徹底しながら営業をしていきたいです。

また、当店は地元生産の商品を多くお預かりしており、店舗の売上げが上がれば地元の生産者の方の売上げにも貢献できると思うので、これからも生産者の方とともに頑張っていきたいです。



①売り場に掲示したポップで感染予防を啓発
②感染予防のため店内飲食を禁止しています